

令和 5 年度 (2023 年度)

茨木市青少年育成のための 「重点目標と取組状況」 (案)



茨木市・茨木市教育委員会
茨木市青少年問題協議会



次なる
茨木へ。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



冊子「重点目標と取組状況」目次

1 茨木市青少年健全育成運動重点目標

- ・重点目標の解説 p.1～6
- ・重点目標の取組状況（自己点検アンケート集計） p.7～9
- ・各青少年健全育成団体の活動状況 p.10～11
- ・ほっとけん！アワード行事の活動紹介 p.12～14
- ・ほっとけん！アワード実施要領、審査基準 p.15～16

2 青少年対象の行事

- ・令和4年度（2022年度）青少年健全育成事業補助金 対象行事 実施結果 p.17～20
- ・令和5年度（2023年度）青少年健全育成事業補助金 対象行事 p.21～24

3 育成者対象の行事

- ・青少年健全育成研修会報告 p.25

4 青少年問題協議会の役割

- ・茨木市青少年問題協議会とは p.26
- ・青少年問題協議会の構成（関係図） p.27
- ・茨木市青少年問題協議会条例 p.28
- ・取組状況（議題） p.29
- ・青少年問題協議会委員名簿 p.30

5 青少年問題協議会／団体・機関の紹介 p.31～32

- ・こども会（茨木市こども会育成連絡協議会・各小学校区こども会育成連絡協議会）
- ・小学校区青少年健全育成運動協議会
- ・中学校区青少年健全育成運動協議会
- ・中学校区青少年指導員会（茨木市青少年指導員連絡協議会）
- ・茨木地区保護司会
- ・吹田子ども家庭センター
- ・大阪府茨木保健所
- ・茨木警察署生活安全課
- ・茨木市PTA協議会

6 資料

- ・青少年問題協議会関係 啓発事業一覧 p.33

1 茨木市青少年健全育成運動重点目標

重点目標の解説

青少年問題協議会では、関係する団体・組織の委員が集まり、青少年の健全育成に関する総合的な施策の審議を行っています。

同協議会では青少年健全育成に関して、重点的に取り組む目標として「青少年健全育成運動重点目標」を策定しており、平成 29 年度にはこどもたちを取り巻く複雑多様化する社会環境の中で、青少年の問題行動の抑止やネット被害などに巻き込まれることを防ぐために、大人が青少年の出す様々な助けを求める心の声（サイン）に気づき、互いに声を掛け合える関係づくりを積極的に行っていくことを意識するため「子どもの SOS ほっとくん？大人が気づいて声をかけあう関係づくり」と設定しました。

茨木市青少年健全育成運動重点目標

子どもの SOS ほっとくん!?
大人が気づいて 声をかけあう 関係づくり

令和 5 年度の協議会では、この目標を継続し、市内の青少年向け行事で重点目標を意識して取り組んでいただくために、行事の計画時と実施後に記入をしていただいた自己点検アンケートの集計と分析や重点目標を意識して、青少年との関係づくりのために工夫した行事を好事例として他の参考にさせていただくための「ほっとけん！アワード」を実施・決定してまいりました。

この重点目標をふまえて、家庭・学校・地域・行政機関が具体的な取組を行い、青少年の健全育成を推進します。

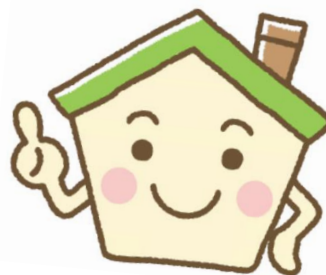


(1) こどもの発するSOSのサイン「こんなサインがあります」

悩みやストレスが大きくなってくると、こどもたちの生活や行動に様々なサインが現れます。何気ない、日常の生活や体調・行動が変わったなと感じたら、それはこどものSOSのサインかもしれません。

「家庭」で見かけるサインの例

- 夜更かしが多い、朝なかなか起きられない
- 食欲がない、または食べ過ぎる
- 顔色が悪い、よく体調不良を訴える
- 外出をしたがらない、独り言が増えた



「学校や地域」で見かけるサインの例

- 一人で行動していることが多い
- 行事や活動に参加しなくなった
- 夜遅くに出歩いている



「ネット世界」が原因のサインの例

- 夜遅くまでケータイ・スマホ等をさわっている
- ケータイ・スマホ等が手元にないと、落ち着きがなくなる
- ネットで何をしているかを隠そうとする
- SNSに過剰に反応する



(2) SOSをキャッチしたら「まずは身近な大人の声かけから」

こどものSOSのサインをキャッチしたら、まずはこどもへの「声かけ」や「言葉かけ」から始めましょう。一人だけで考えず、家族や地域の大人で話してみることもこどもを支える力になります。

「家庭」では、

「おはよう・おやすみ」「いってらっしゃい・お帰りなさい」などの毎日の言葉かけが大切です。また、家族そろって食事をとることや規則正しい生活をするこゝで、こどものSOSに気づきやすくなります。また、家庭において、こどもとのコミュニケーションのあり方を振り返ってみましょう。「夜間に外出はしているけど、メールやLINEで連絡はちゃんと取っているから大丈夫」と安心しきってしまうことは危険かもしれません。こどもにとって家庭が最も安らげる居場所であるために、食事や家族団らんの時間など、直接顔を合わせてのコミュニケーションを大切にすゝよう、あらためて見直してみてください。

「学校や地域」では、

通学をしたり、普段友人や家族と遊んだり、青少年にとって学校や住んでいる地域は大切な居場所の1つです。その地域とのつながりを強くすることは、その地域にいる人や商店など、全てが青少年にとっての見守りの目になる可能性につながっていきます。出会ったときのあいさつや声かけで、普段の関係づくりを心がけましょう。

気になる発言や行動があれば、保護者や周りの友達、活動に関わる指導者・先生などに聞いてみることも大切です。こども会や放課後子ども教室のような取組のほか、地域のコンビニエンスストア等と連携した取組に着手している校区も見られるようになってきました。また、こども・若者の居場所であるユースプラザを、市内5か所に設置しています。多くの人に見守られて、青少年が安心して過ごす事のできる地域を作るために、大人が積極的な取組を推進しましょう。

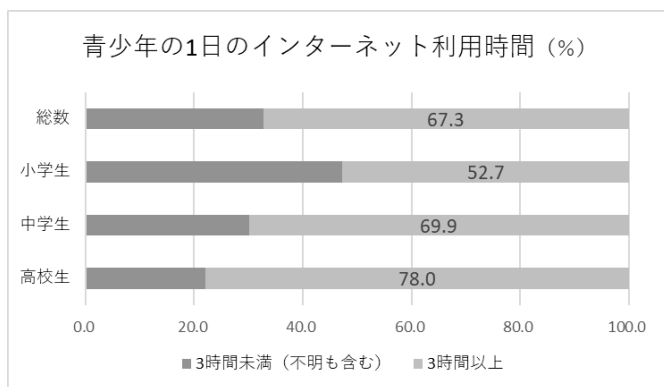
※ユースプラザ：おおむね中学生から39歳までの方を対象とした居場所を市内5か所で設置。社会経験、交流、自習、悩み事相談などができる（p.6参照）

「インターネット内」では、

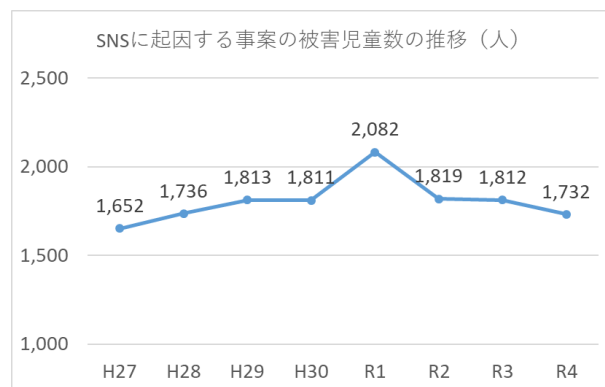
とても見えにくい部分ですが、トラブルにあった子どもがどうすれば良いかわからずに困っている場合があります。日ごろからインターネットに関する話題などを話しておくことも大切です。

■広がり続けるネット世界

青少年による携帯電話・スマートフォン等を通じたネット世界とのかかわりは、ますます広く、深いものになりつつあります。令和4年度の内閣府による青少年のインターネット利用環境実態調査では、青少年の98.5%がインターネットを利用していると回答しています。利用機器はスマートフォン(73.4%)、学校から配布・指定されたパソコンやタブレット等(GIGA端末)(63.6%)、ゲーム機(63.2%)が上位となっています。また、1日あたりの平均利用時間は、前年と比べ約17分増えた280分となり、増加の一途をたどっています。学年が上がるにつれて利用時間が延びる傾向も見られ、高校生では78.0%が1日に3時間以上インターネットを利用しています。利用内容の内訳としては、動画視聴、検索、ゲーム、音楽視聴が上位となっています。近年増加傾向にあったSNSに起因する事案の被害児童数については、令和元年度をピークに直近では減少に転じ、令和4年度は1,732人で前年度より80人の減少となっています。



内閣府「令和4年度青少年のインターネット利用環境実態調査」より



警察庁ホームページ「STOP! 子供の性被害」より

これらのデータは、今の青少年にとってデジタル機器やインターネットは極めて身近な存在で、生活の中で1つの居場所になりつつあり、完全に遠ざけることは困難な時代になっていることを示しています。

(3) 青少年に関する相談

身近な相談員「一人で悩まず相談しましょう」

- SC、SSW：市内小・中学校には、児童生徒の抱える多様な問題を支援するために、専門的知識・技術を有するスクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）がいます。相談する場合は、学校にお問い合わせください。担当課：学校教育推進課（072-620-1683）
- 主任児童委員：地域の身近な相談相手として、児童福祉に関する事項を専門的に担当する主任児童委員がいます。担当課：地域福祉課（072-620-1634）
- CSW：地域における子育てや生活など、福祉専門の相談員として、市内14か所にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）がいます。
担当課：福祉総合相談課（072-655-2758）

青少年に関する相談連絡機関「まずは電話で相談できます」

内 容	相談機関	時間	電話番号
教育に関する悩み相談	茨木市教育センター 電話教育相談	月～金 9時～17時	072-625-7830
「いじめ」に対する相談 フリーダイヤル	茨木市教育センター 「いじめ」ホッと電話相談	月～金 9時～17時	072-627-5511 0120-147970
すこやかホットライン	大阪府教育センター	月～金 9時30分～17時30分	(こども) 06-6607-7361
さわやかホットライン			(保護者) 06-6607-7362
24時間こどもSOSダイヤル			0120-0-78310
こども専用 こどもの悩み相談 フリーダイヤル	大阪府	24時間 365日	0120-7285-25
こどもの人権110番 全国共通フリーダイヤル	法務局	月～金 8時30分～17時15分	0120-007-110
少年非行等に関する相談、 指導、助言（少年育成室）	茨木少年サポートセンター	月～金 9時～17時45分	072-625-6677
少年の立ち直り支援（育成支援 室）		月～金 9時30分～18時	072-621-4114
犯罪や非行に関する相談	茨木市更生保護 サポートセンター	月～金 10時～16時	072-620-8310
こどもや家庭に関する さまざまな相談	吹田子ども家庭センター	月～金 9時～17時45分	06-6389-3526
児童相談所虐待対応ダイヤル			189
児童相談所相談専用ダイヤル		24時間 365日	0120-189-783

内 容	相談機関	時間	電話番号
児童虐待相談・通告	茨木市立こども支援センター こども相談室	月～金 8時45分～17時15分	072-624-8951
子育て相談		月～金 8時45分～17時15分	072-624-0961
青少年に関する相談	茨木市教育委員会 社会教育振興課	月～金 8時45分～17時15分	072-622-5180
こども会や放課後子ども教室 に関する相談			
少年非行防止活動	茨木警察署生活安全課少年係	月～金 9時～17時45分	072-622-1234
商品・サービスの契約や解約等 に関する相談（インターネット 関連のトラブル含む）	茨木市消費生活センター	月～金 9時～16時30分 第2・4土曜日 9時～正午	072-624-1999
ひきこもり・ニート・不登校 に関する相談※要予約	茨木市子ども・若者自立支援 センター「くろす」	月・水～土 10時～18時	072-646-5526
お悩みごとを身近な場所で気 軽に相談 (こども・若者/保護者) ※要予約 (予約受付：10時～20時)	ユースプラザ EAST 「ちょい(choi)」 総持寺いのち・愛・ゆめセンター 別館（総持寺 2-5-36）	火～土 13時～21時	072-628-6993
	ユースプラザ WEST 「いばらき LOBBY」 豊川いのち・愛・ゆめセンター 分館（豊川 5-10-28）	火～土 13時～20時	080-9607-5051 080-4973-3681
	ユースプラザ SOUTH 「ベンポスタ・ぱーちスペース」 沢良宜いのち・愛・ゆめセンター 分館（沢良宜浜 3-11-13）	月～水・金・土 10時～20時	072-655-3761
	ユースプラザ NORTH 「プラザ・あい」府営茨木安威住 宅 B-5 棟 103 号室 B-22 棟集会所 （南安威 2）	月・火・木～土 10時～20時	072-655-1821
	ユースプラザ CENTER「エント」 男女共生センターローズ WAM （元町 4-7） 上中条青少年センター （上中条 2-11-22）	月・水・金 10時～12時 木・日 13時～15時 ※男女共生センター ローズ WAM 月・水・金 17時～21時 ※上中条青少年センター	080-1521-4624

重点目標の取組状況

(自己点検アンケート集計【行事計画時・実施後・最新計画時の比較】)

自己点検アンケートの趣旨・目的

本市の青少年育成運動は、茨木市青少年問題協議会で「茨木市青少年健全育成運動重点目標」を定め各青少年団体に具体的な取組をお願いしている。この自己点検アンケートは、青少年健全育成事業補助金の対象行事の実施に伴い、計画から実施後の各段階において、青少年健全育成重点目標に沿った取組がどの程度意識できたか、行事ごとに自己点検を行っていただくために実施した。

調査対象団体・行事	R4・計画時	⇒	R4・実施後	⇒	R5・計画時
補助金申請団体数	55団体	⇒	55団体	⇒	64団体
補助対象行事	125行事	⇒	125行事	⇒	133行事

回収方法 (令和5年度の補助金申請期間は9月29日まで。)

青少年健全育成事業補助金の申請書類提出に合わせて社会教育振興課窓口にて回収

回収時期 R4年度：2022年4月1日から2022年12月21日

R5年度：2023年4月1日から2023年9月29日

■重点目標に沿って、行事の計画を行ったか。

「沿っていた」は

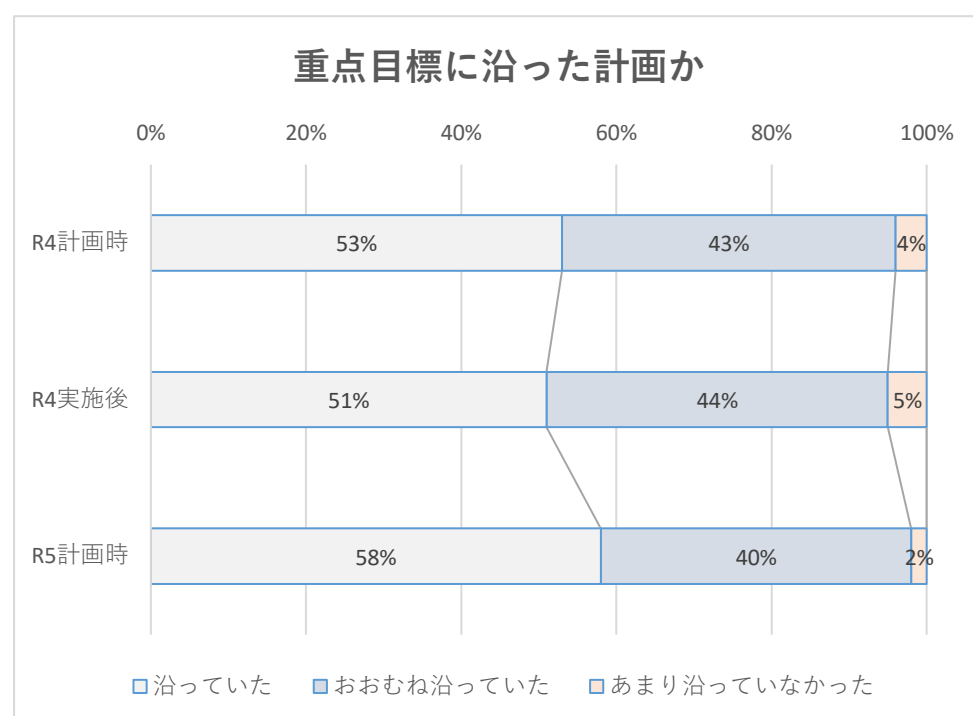
R4計画時53%、実施後51%、R5計画時58%

「おおむね沿っていた」は

R4計画時43%、実施後44%、R5計画時40%

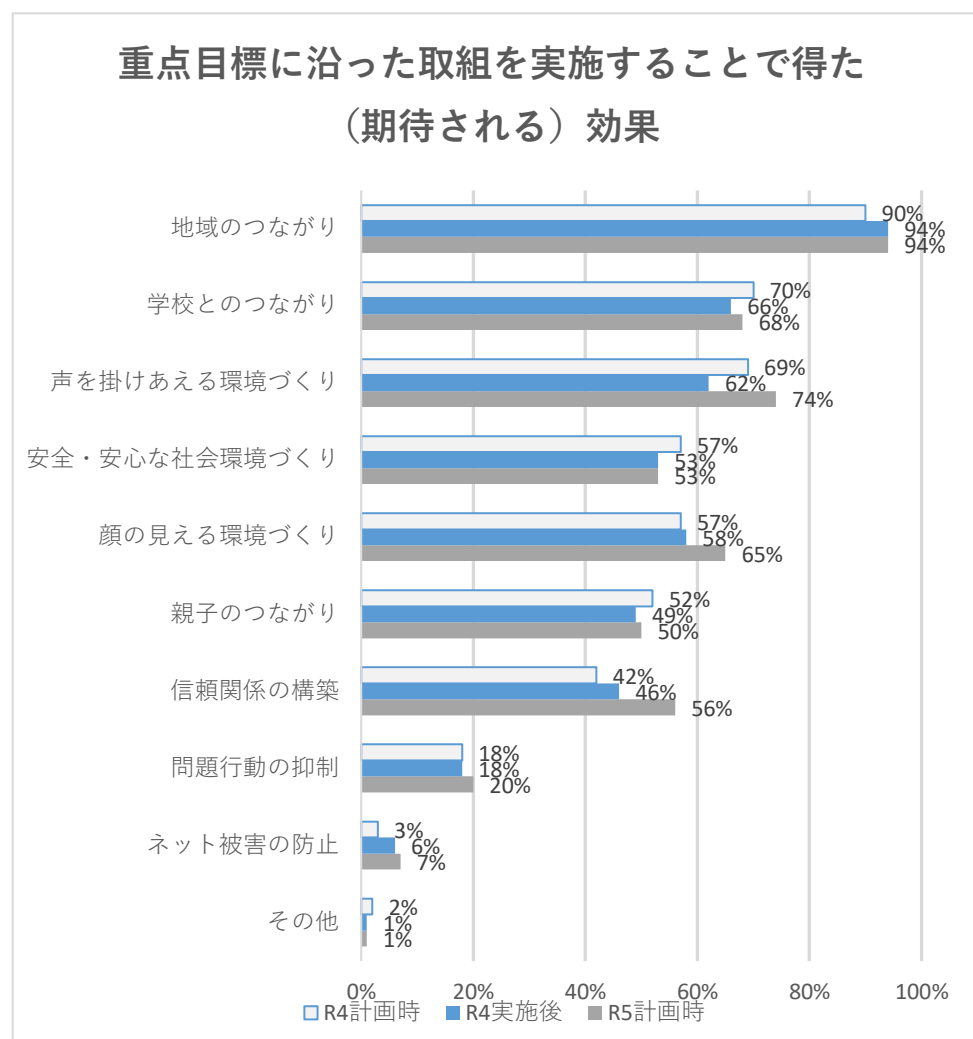
「あまり沿っていなかった」は

R4計画時4%、実施後5%、R5計画時2%となった。



■重点目標に沿った取組を実施することで得た(期待される)効果。

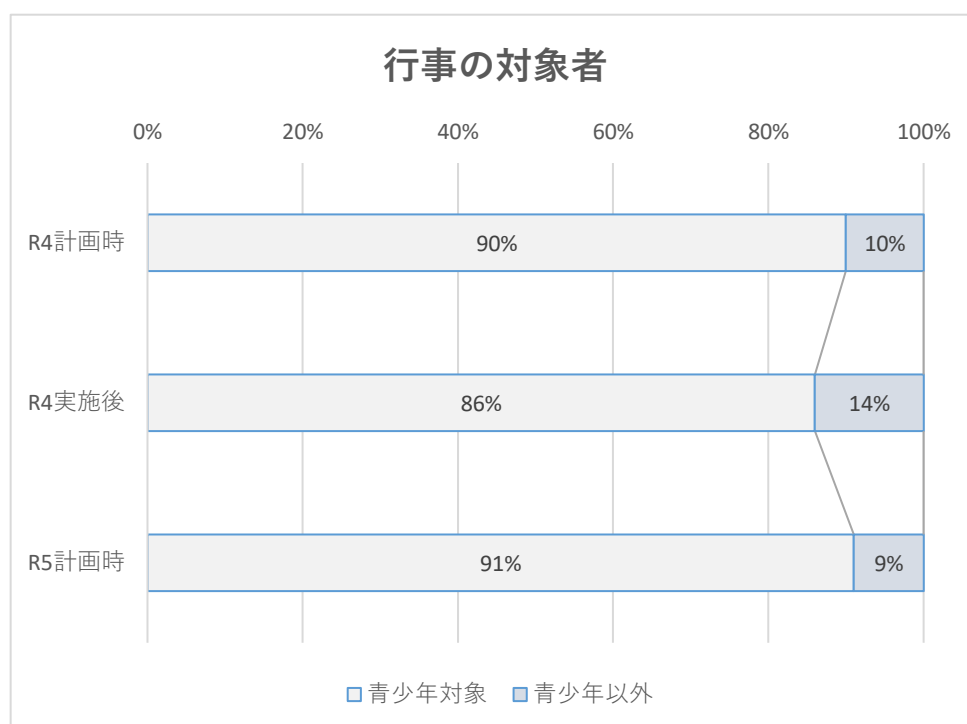
重点目標に沿った取組を実施することで得た(期待される)効果では、令和5年度においても令和4年度から引き続き「地域のつながり」「学校とのつながり」「声を掛けあえる環境づくり」などの効果が得られることを期待して行事が計画されている。これまでのコロナ禍で、生活様式やコミュニケーションの手段が変化し、人間関係の希薄化が懸念される中で、行事の実施が青少年と地域・学校・家庭のつながり強化に資することを期待しているものと伺える。



■青少年に対する大人のかかわりに関して、行事の対象者は誰か。

「青少年対象」は
R4計画時90%、実施後86%、R5計画時91%

「青少年以外」は
R4計画時10%、実施後14%、R5計画時9%となつた。

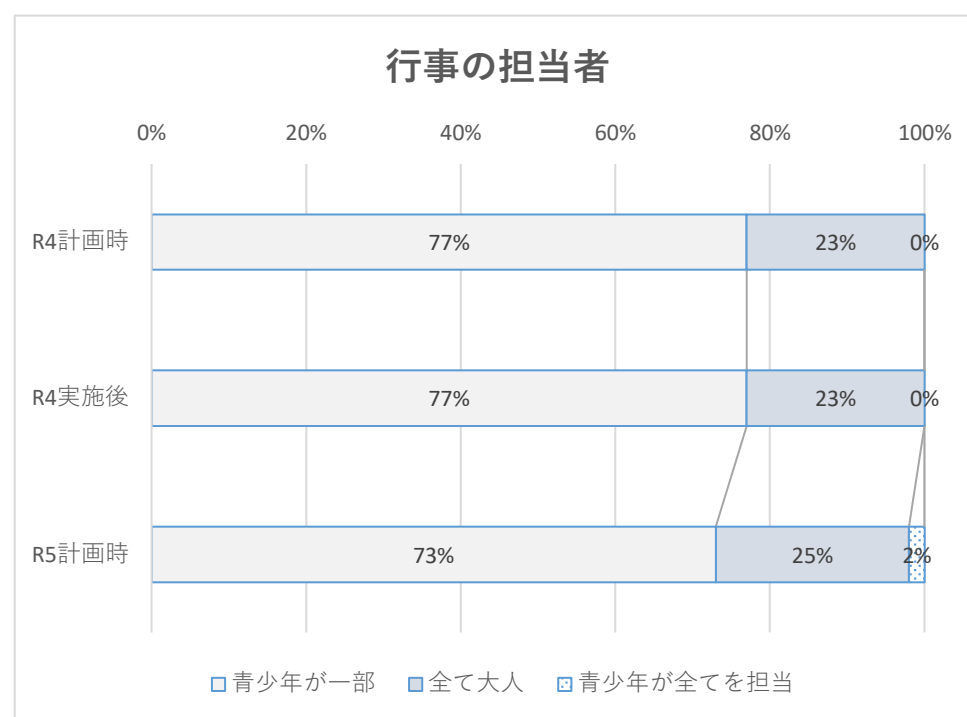


■青少年に対する大人のかかわりに関して、青少年との役割分担は。

「青少年が一部を担当」は
R4計画時77%、実施後77%、R5計画時73%

「全て大人が担当」は
R4計画時23%、実施後23%、R5計画時25%

「青少年が全てを担当」は
R4計画時0%、実施後0%、R5計画時2%となつた。

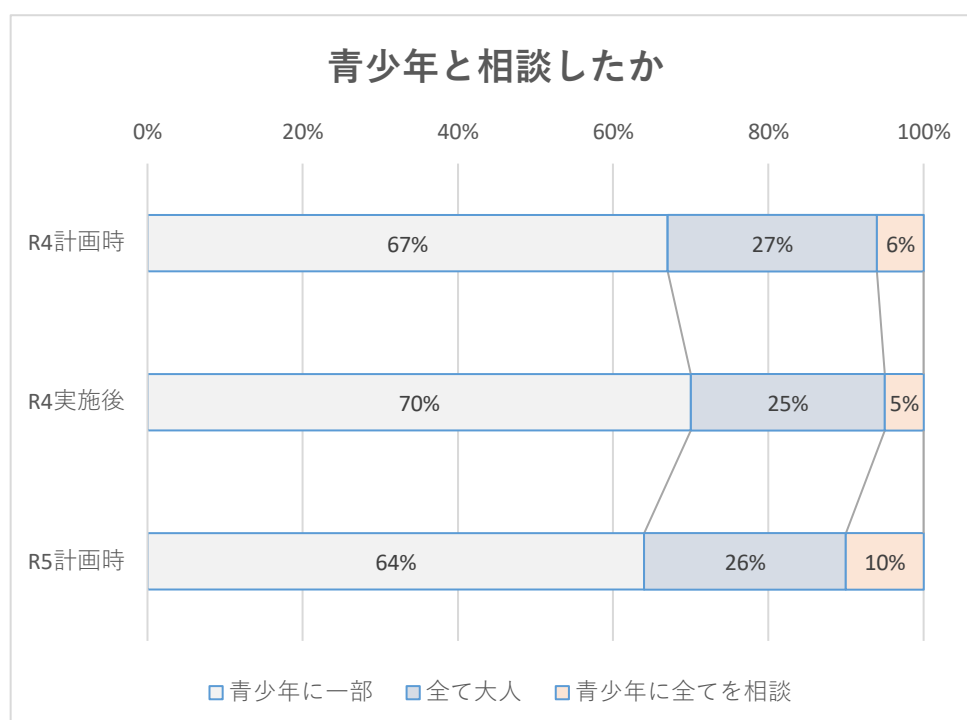


■青少年に対する大人のかかわりに関して、青少年と相談しながら行事をおこなったか。

「青少年に一部を相談」は
R4計画時67%、実施後70%、R5計画時64%

「相談はしていない(全て大人)」は
R4計画時27%、実施後25%、R5計画時26%

「青少年に全てを相談」は
R4計画時6%、実施後5%、R5計画時10%となつた。



■青少年に対する大人のかかわりに関して、青少年への指導・助言をおこなったか。

「青少年に一部を指導・助言」は

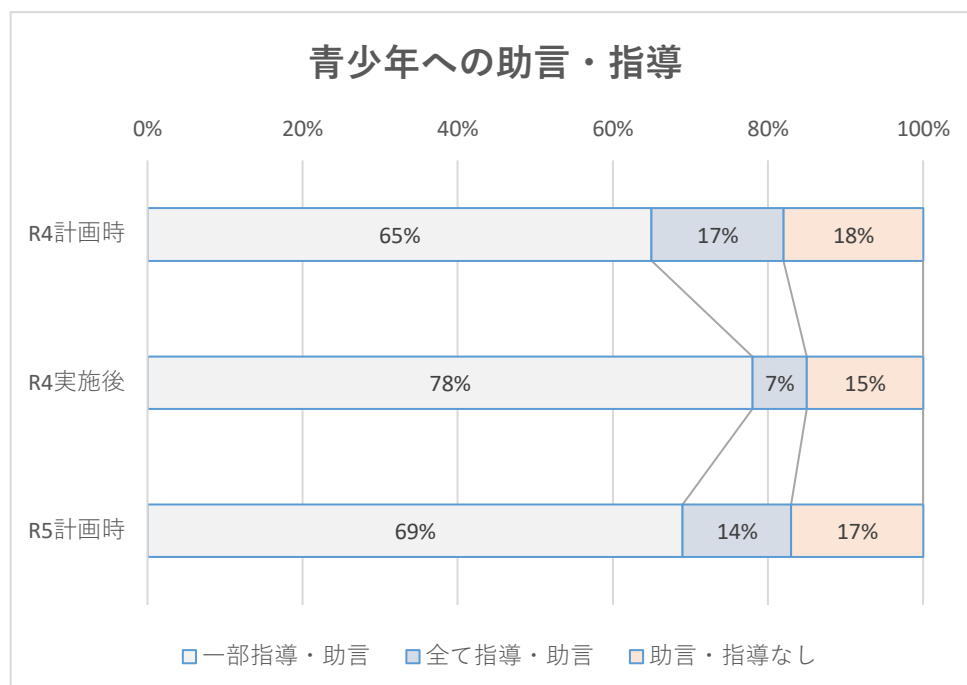
R4計画時65%、実施後78%、R5計画時69%

「全て指導・助言した」は

R4計画時17%、実施後7%、R5計画時14%

「助言指導はしていない」は

R4計画時18%、実施後15%、R5計画時17%となった。



■青少年に対する大人のかかわりに関して、青少年の希望を採用したか。

「青少年の希望を一部採用」は

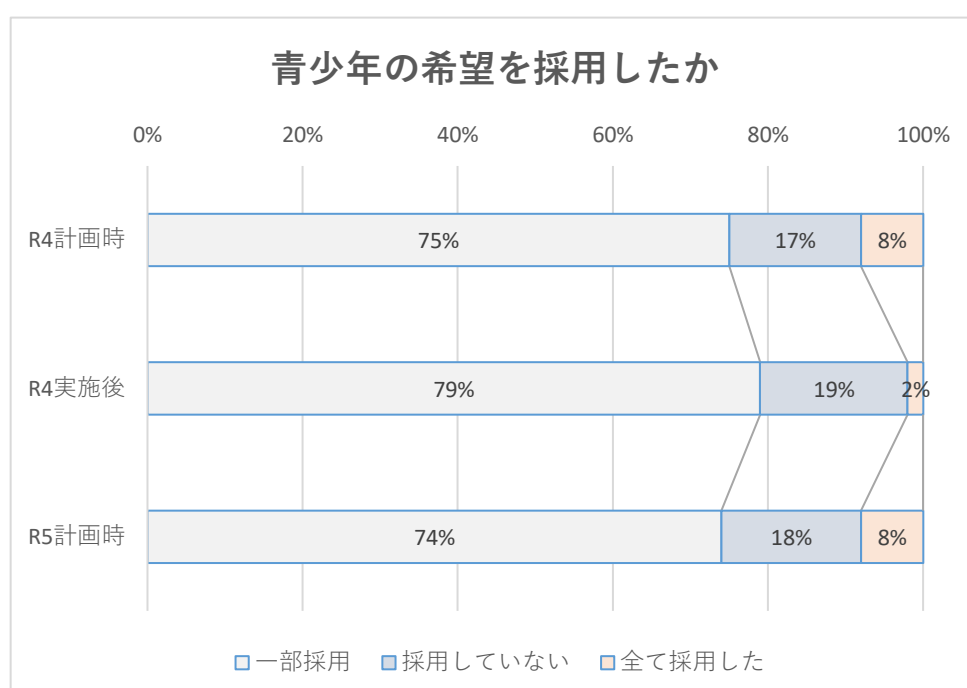
R4計画時75%、実施後79%、R5計画時74%

「青少年の希望は採用していない」は

R4計画時17%、実施後19%、R5計画時18%

「青少年の希望を全て採用した」は

R4計画時8%、実施後2%、R5計画時8%となった。



■アンケートのまとめ

これまで、コロナ禍での地域の青少年育成活動は、重点目標を意識して行事を計画しているものの、コロナ禍で実施方法や企画に苦慮したり、地域で協力が得られにくいなど、取組を計画通り実施できないことがあった。

そのため、コロナ禍における自己点検アンケートでは、重点目標に沿っているかどうかや青少年との関わりにおいて、計画時より実施後に数値が低く出る傾向があり、項目によっては20%ほど低くなるものもあった。

一方で、令和4年度においては、実施後の数値が計画時と同等になる傾向にあった。ここからは、地域において青少年との関わり（役割分担・相談・指導助言等）を計画どおりに進めながら、青少年の自主性を引き出すような工夫をし行事を企画・運営できたことが伺える。

令和5年度も引き続き、地域行事に青少年の積極的な参加を促し、コロナ禍で落ち込んだ青少年と地域・学校・家庭等とのつながりの回復に期待して、重点目標に沿った行事を再開していく計画にあるものと考えられる。

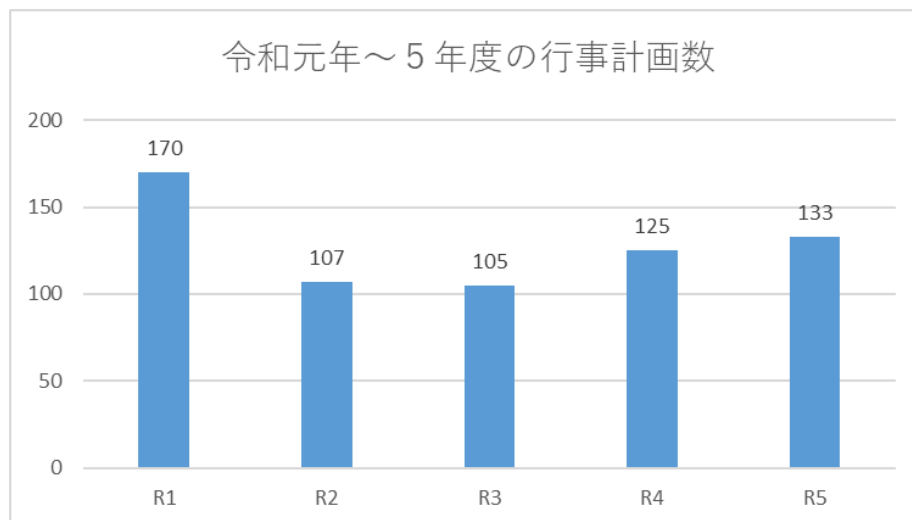
青少年問題協議会では各行事で青少年の役割を意識・計画し、自己有用感を高めるための工夫をするなどの地域行事を推奨し、好事例を地域にフィードバックするとともに、担い手の活動意欲を高めいただくための「ほっとけん！アワード」やコロナ禍での各団体の行事運営の工夫を積極的に発信するなど、青少年健全育成の充実を推進している。

各青少年健全育成団体の活動状況

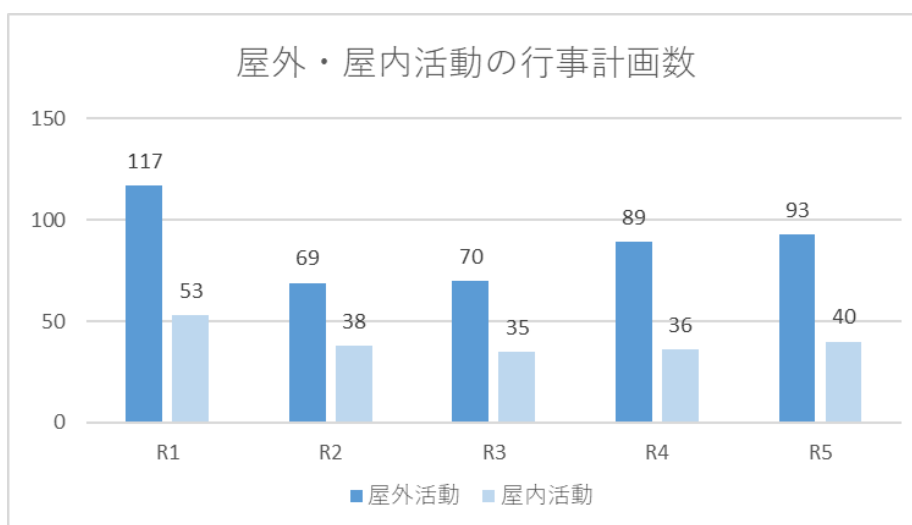
1. コロナ禍における青少年健全育成活動

青少年健全育成補助事業におけるコロナ禍の影響を把握するため、令和元年度から令和5年度までの行事の開催計画状況を比較した。

令和5年度行事計画数は、コロナ禍前の令和元年度と比較し約22%減少、通年でコロナ禍にあった令和2年度と比較し約24%増加、令和3年度と比較し約27%増加、行事の再開傾向にあった令和4年度と比較し約6%増加している。



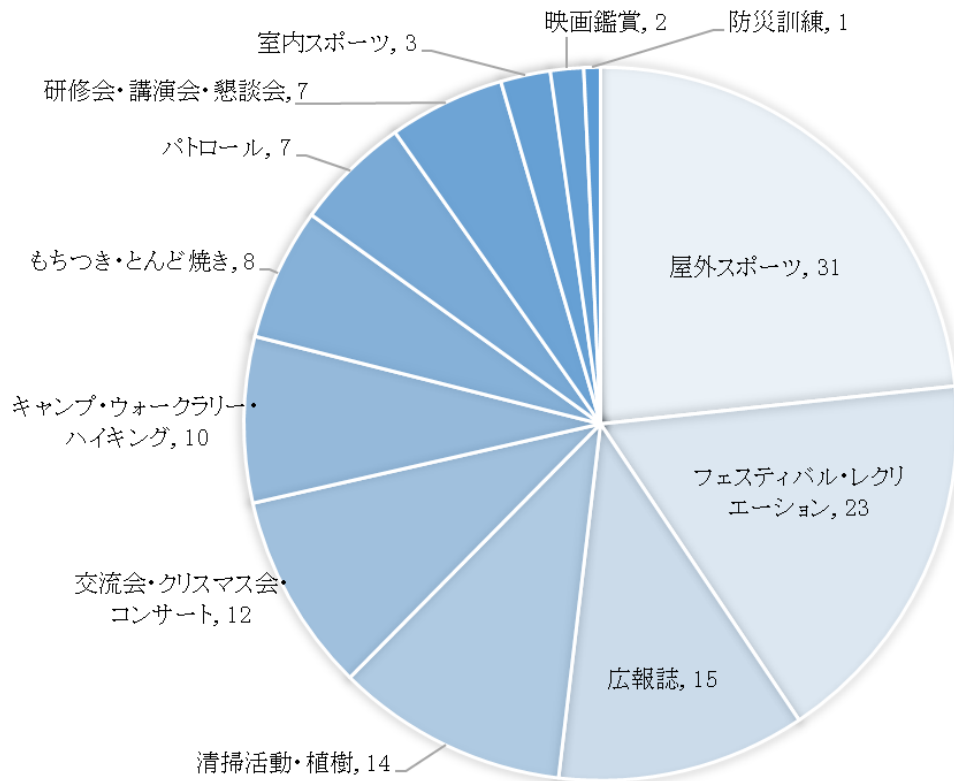
令和5年度の行事計画に占める屋外・屋内活動の割合は、屋外が約70%、屋内が約30%となっているが、他の各年度においてもほぼ同様の割合となっている。



2. 種目別の行事実施件数

令和5年度では、計画・実施された133行事中、件数が多い行事の順に「屋外スポーツ 31件」「フェスティバル・レクリエーション 23件」「広報誌 15件」「清掃活動・植樹 14件」となっている。

令和5年度に実施予定の種目別行事件数（全133行事）



ほっとけん！アワード行事の活動紹介



大賞「ほっとけん！アワード」 受賞おめでとうございます！！



青少年にまつわる様々な問題の解決を図る工夫や取組を行った地域行事に対して、行事の益々の発展を支援し、他の地域に対して好事例として参考にしてもらうために茨木市青少年問題協議会で「ほっとけん！アワード」を実施しました。

各協議会（①小学校区こども会育成連絡協議会、②小学校区青少年健全育成運動協議会、③小学校区青少年会育成会、④中学校区青少年健全育成運動協議会、⑤中学校区青少年指導員会）での選考会等で選出された5行事を、基準（P.16）により青少年問題協議会で審査し、大賞「ほっとけん！アワード」1行事、奨励賞4行事を決定しました。

第5回ほっとけん！アワード 「西小学校区健康オリエンテーリング大会」 (西小学校区青少年健全育成運動協議会)



コロナ禍で減少したスポーツイベントを絶やさず継続するため、オリエンテーリングを開催。地域の子どもから高齢者まで参加でき、健康に貢献し、地域の素晴らしさを再確認できることを目標とした。児童の希望であるクイズ形式やみんなで仲良く歩けることなどを行事に取り入れた。児童にはポスターやクイズ問題を作製してもらい、中学生はスタッフ側として参加してくれた。ポスターは地域の掲示板に掲示し、オリエンテーリング当日もポイントとして活用した。東西に長い地域を利用して全体に広くポイントを点在させ、長く歩けるように工夫した。ポイントではクイズだけではなく、運動チャレンジという簡単な体操も入れた。児童には困っている人に積極的に声掛けをするよう指導したが、児童が高齢者や未就学児、一般の方を手助けする様子も見られ、指導以上の動きをしてくれた。

初めての催しだったが、地域の協力もありしっかり連携できた。交通安全の面では、警察署への事前相談や保護者スタッフを重点配備することによって配慮した。

日時：令和4年11月27日（日） 参加人数：345人



奨励賞

受賞おめでとうございます



「ほっとけん！アワード」の奨励賞4行事は、以下のとおりとなりました。どの団体も、様々な工夫を凝らして地域で青少年育成のための行事を行っています。

「南中学校区フェスタ 2022」 (南中学校区青少年健全育成運動協議会)

家庭・学校・地域の関係を深めること、人々が集い語り合い共に活動できる場や機会を提供することを目的に実施。中学生には企画運営や模擬店の応援に参加してもらい、ステージ司会も担当した。運営に関し、中学生には地域の運営者と積極的にコミュニケーションを図るよう助言し、地域の方にも中学生に活躍の場を設けてもらうようお願いした。実行委員会には幼・保・小・高校の先生にも参加してもらい、イベントの発表では多くの子どもや児童、生徒が参加した。コロナ禍のために飲食無し、感染防止対策の徹底等の苦労はあったが、模擬店・ゲームコーナー・ステージ発表等の工夫によって、従来のフェスタに劣らない盛り上がりがあった。

日時：令和4年10月29日（土） 参加人数：2,000人



「天子連カーニバル」 (天王小学校区子ども会育成連絡協議会)

家庭・地域・友達や学生ボランティアと共に工作・スポーツ・ゲームを通して親睦を深めることを目的に実施。遊びの下準備は大人が行ったが、遊び方は子どもが自由にできるようにし、子どもの自主性を重視した。想定外のトラブルにも大人だけ対処するのではなく、子どもと一緒に工夫してどう遊ぶかを考えるよう助言した。学生ボランティアも参加し、自由な発想や意見を引き出すことができた。当日は多くの保護者が参加し、作品作りや遊びへのサポートをいただいたことで、地域の方に支えられている実感を得られた。作成したスノードームを公民館の文化展に展示してもらい、地域の方々に子ども会活動を知ってもらう取組も行った。

日時：令和4年10月29日（土） 参加人数：173人



「第7回春日丘小学校区青少年会親睦スポーツ大会」 (春日丘小学校区青少年会育成会)

中学生相互の親睦を図るとともに、地域の大人との交流を通じて、地域活動への参加を活性化することを目的とした。中学生の意見を聞いて、スポーツとバーベキューの実施とした。中学生が会場の準備、まかないの手伝い、ゲームの進行、会場の後片付けなどを行った。ほとんどの中学生が初めてとなるポッチャを体験しニュースポーツに親しむとともに、各々の役割を担ってくれた。地域では、青少年指導員、スポーツ指導員、青健協メンバーなどにそれぞれの立場でご協力いただいた。中学生の力は地域行事において欠かせない存在になっている。生徒たちがもっと大きくなったときに、地域の行事に積極的に関わってもらえることを願う。

日時：令和5年6月4日（日） 参加人数：120人



参加者集合写真

「放課後カフェ（レインボーカフェ）」 (西陵中学校区青少年指導員会)

放課後の帰宅前や部活が始まるまでの時間に、中学生がひと息ついて、青少年指導員などの地域の方や先生と交流するカフェ事業として実施。目的として、大人が生徒を見守っていることを伝えることもある。通いづらさを抱える生徒も参加できるよう、教室に入りづらい生徒が通うステップルームへ出張カフェを実施するなど、配慮を行った。生徒と大人が関心ごとや流行を話す中で、地域の大人として、普段の家庭や学校とは違った角度から生徒に助言を行うことができた。始める前はアレルギーなどの課題はあったものの、価値のある試みとして実施した結果、大勢の生徒が参加してくれた。その後も継続して開催している。

日時：令和4年12月～令和5年3月にかけて4回実施

参加人数：各回約100人



放課後カフェの様子

ほっとけん！アワード実施要領

1 目的

市内の青少年健全育成団体が実施する行事は、地域の大人と青少年が声をかけあう関係づくりのための貴重な機会である。しかし、青少年の興味の多様化等による参加者の減少や担い手不足から生じる恒常化など、行事の見直しや工夫が必要となっている。そこで、青少年自身が主役となり、自己有用感を高める等の効果を生み出した行事を好事例として評価し表彰することで、他団体の効果的な活動を知る機会とし、各団体の活動意欲を高めることで時代に応じた青少年の健全育成に資することを目的とする。

2 対象

以下の協議会内の団体が前年度に青少年健全育成事業補助金を活用して実施した行事

- (1) 小学校区こども会育成連絡協議会
- (2) 小学校区青少年健全育成運動協議会
- (3) 小学校区青少年会育成会
- (4) 中学校区青少年健全育成運動協議会
- (5) 中学校区青少年指導員会

3 受賞行事の選考及び決定方法

対象の各協議会から推薦された行事から、青少年問題協議会にて大賞「ほっとけん！アワード」1行事、奨励賞4行事を決定する。

なお、(3)小学校区青少年会育成会は協議会が組織されていないことから、(4)中学校区青少年健全育成運動協議会にて協議の上、行事を推薦する。

4 審査基準

以下の項目等に基づき、3～4段階で評価し、各協議会及び青少年問題協議会にて審査・決定する。

- (1) 重点目標に沿って行事計画・実施を行ったか。
- (2) 重点目標の沿った取り組みを実施することで期待される(実感した)効果
- (3) 青少年の役割
- (4) 青少年との相談
- (5) 青少年への指導と助言
- (6) 青少年の希望を取り入れたか
- (7) 独自性

5 賞の授与

大賞「ほっとけん！アワード」受賞団体へ5万円、奨励賞受賞団体へ3万円を、賞状と共に授与する。

6 その他

この要領に定めるものの他、必要な事項は別に定める。

附則 この要領は令和2年7月20日から施行する。

ほっとけん！アワード 審査基準

項目	審査内容	評価／配点	
		評価内容	点数
重点目標に沿って行事实施をしたか		十分沿っている 普通 工夫が必要	10点 5点 0点
重点目標に沿った取り組みを実施したことで得た効果	大人が地域の青少年とのつながりを深めている	良い	10点
	行事をきっかけとした継続的な効果が認められる		
	行事前の課題が解決に向かっている		
青少年との相談	計画時や当日に青少年と相談をして進めている	やや良い	8点
青少年の希望を取り入れたか	青少年の希望が取り入れられている	普通	5点
青少年の役割	企画、準備、司会、当日作業等をしている	やや良くない	2点
青少年への指導と助言	青少年の役割（参加者も含む）に対して、アドバイスや打ち合わせを行っている		
独自性		独自性が高い 普通 工夫が必要	10点 5点 0点
総合判断		十分な実績 普通 工夫が必要	10点 5点 0点



様々な団体が青少年健全育成事業補助金を活用して、行事を実施しています。

次ページからは、各地域で実施された青少年対象の行事を紹介するね！



2 青少年対象の行事

令和4年度（2022年度） 青少年健全育成事業補助金 対象行事 実施結果

令和4年度 校区子ども会育成連絡協議会

校区	開催月日	事業名	参加人数
茨木	5月1日(日)~12月末	スポーツ活動事業	1040
春日	申請なし		
春日丘	申請なし		
三島	5月21日(土)	ソフトボール	30
中条	6月11日(土)	校区子ども会全体行事 ガッツで遊ぼう	230
	8月	校区キャンプ	コロナによる中止
	12月3日(土)	子ども会親善百人一首カルタ競技大会	230
玉櫛	8月20日(土)	さよなら夏休み模擬店出店	コロナによる中止
	12月3日(土)	玉櫛校ご連交流会	100
安威	申請なし		
玉島	6月18日(土)	ソフトボール・キックベース玉島校区大会	100
福井	6月12日(日)	子ども親善スポーツ交流会	115
	1月8日(日)	福井地区どんど焼き大会	303
清溪	申請なし		
大池	5月7日(土)~11月13日(日)	校区スポーツ大会 キックベースボールとソフトボールの活動	1105
豊川	申請なし		
東	申請なし		
水尾	6月19日(日)	校区大会事業（春季）	中止(練習のみ136)
	12月4日(日)	校区大会事業（秋季）	中止(練習のみ252)
天王	10月29日(土)	天子連カーニバル	120
葦原	8月7日(日)~22日(月)	子ども会キャンプ	8
郡	申請なし		
庄栄	5月上旬~10月23(日)	第56回子ども会親善スポーツ中央大会	357
沢池	申請なし		
畑田	申請なし		
山手台	申請なし		
耳原	申請なし		
穂積	4月3日(日)~10月23日(日)	校区ソフトボール大会	510
	5月6日(金)~2月17日(金)	校区百人一首大会	100
白川	申請なし		
東奈良	申請なし		
西	5月8日(日)~3月21日(祝)	キックベースとソフトボール	853
西河原	申請なし		
彩都西	4月3日(日)~3月21日(祝)	キックベース交流事業	110

令和4年度 小学校区青少年健全育成運動協議会

校 区	開催月日	事 業 名	参加人数
茨 木	申請なし		
春 日	申請なし		
春日丘	申請なし		
三 島	12月17日(土)	もちつき大会	中止(会議のみ10)
中 条	7月16日(土)	夏祭り	中止(会議のみ115)
	12月11日(日)	もちつき大会	中止(会議のみ115)
玉 櫛	5月29日(日)	SLスケッチ大会	20
	7月9日(土)、12月10日(土)、3月11日(土)	クリーン作戦(7月/12月/3月)	749
	1月14日(土)	もちつき大会	350
	3月20日(月)	広報誌(4,000部)	
安 威	1月30日(月)	安威小学校もちつき大会	210
玉 島	申請なし		
福 井	申請なし		
清 溪	4月～3月	日本の文化に親しむ“剣道”	244
忍頂寺	6月中旬	レクレーション大会	コロナによる中止
	12月10(土)	クリスマス会	100
	1月中旬	もちつき大会	コロナによる中止
	3月20日(月)	青健協だより(500部)	
	2月25(土)	耐寒ハイキング	60
大 池	6月1日(水)～9月30日(金)	大池フラワーフェスタ	57
	10月16日(日)	秋季スポーツ大会	60
	11月6日(日)	グランドゴルフ大会	コロナによる中止
	11月20日(日)	大池フェスタ	中止(会議のみ15)
豊 川	5月21日(土)	親善スポーツ大会	60
	6月18日(土)	ゲーム大会	90
	7月20日(水)	夏季巡回パトロール	10
	11月5日(土)	豊川小学校区親善ドッチボール大会	60
	11月23日(祝)	豊川中学校区子ども会親善ドッチボール大会	120
中 津	6月27日(月)～1月10日(火)	パトロール	79
	10月15日(土)	モザイクアート体験	119
	1月28日(土)	青少年こどもまつり	171
	2月28日(火)	広報誌「せいけん」(3,200部)	
東	11月27日(日)	グラウンドゴルフ大会	50
	2月1日(水)～3月3日(金)	東小学校 花をふやす運動	コロナによる中止
水 尾	5月22日(日)	スポーツレクリエーション	660
	5月30日(月)～2月14日(火)	高瀬川プランター花の植え替え	630
	6月4日(土)～10月15日(土)	スポーツ教室(ソフトバレー)	350
	10月23日(日)、3月12日(日)	高瀬川清掃	300
	12月18日(日)	クリスマスコンサート	630
	3月20日(月)	広報誌発行(3,500部)	

令和4年度 小学校区青少年健全育成運動協議会

校 区	開催月日	事 業 名	参加人数
郡 山	5月	オリエンテーリング	コロナによる中止
	6月12日(日)~11月20日(日)	校区美化活動	20
	7月20日(水)~3月5日(日)	校区パトロール	30
	7月25日(月)~27(水)	夏休みラジオ体操	360
	8月6日(土)	夏休みレクリエーション	中止(会議のみ2)
	2月	人権講演会	中止(会議のみ2)
太 田	12月	クリーンアップ	コロナによる中止
	1月	ふれあいの集い	コロナによる中止
	3月	広報誌発行	コロナによる中止
天 王	6月25日(土)、11月12日(土)	クリーン作戦	240
	12月上旬	天王フェスタ	コロナによる中止
	1月22日(日)	スポーツ大会	220
	3月10日(金)	青健協だより (4,500部)	
葦 原	8月6日(土)	夏の水遊びフェスタ	378
	11月12日(土)	青少年スポーツフェスタ	307
	3月末	啓発紙	コロナによる中止
郡	1月15日(日)	郡こどもフェス2023	150
庄 栄	申請なし		
沢 池	11月20日(日)	「親子のつどいin防災フェスタ」	1026
畑 田	申請なし		
山手台	11月12日(土)	親子映画会	コロナによる中止
	1月9日(祝)	新春子どもまつり	コロナによる中止
	2月4日(土)	耐寒ハイキング	コロナによる中止
耳 原	申請なし		
穂 積	7月23日(土)、8月20日(土)	夏休み街頭指導パトロール	20
	11月26日(土)	みんなでやってみよう	230
	1月7日(土)	冬のあそび	コロナによる中止
	6月1日(水)~3月31日(金)	自主サークル活動支援	160
	3月2日(木)	穂積小青健協広報誌発行 (2,900部)	
白 川	10月30日(日)	白川小学校区青少年健全育成大会 (ふれあいコンサート)	294
東奈良	7月3日(日)	元茨木川清掃	雨天中止
	11月5日(土)	東奈良カーニバル	コロナによる中止
	2月18日(土)	防災講演会	50
西	11月27日(日)	西小学校区オリエンテーリング	469
西河原	8月27日(土)	青少年まつり	中止(会議のみ133)
	11月19日(土)	子ども防災体験	81
	12月3日(土)	西河原クリーン作戦	245
彩都西	申請なし		

令和4年度 青少年会育成会

校 区	実施日	事 業 名	参加人数
春 日	申請なし		
春日丘	6月5日(日)	春日丘小学校区青少年会親睦会	57
玉 島	申請なし		
福 井	12月10日(土)	しめ縄作り事業	100
清 溪	申請なし		
大 池	申請なし		
中 津	6月29日(水)~3月18日(土)	おはなし会事業	214
東	申請なし		
葦 原	12月末~3月中旬	青少年交流会	コロナによる中止
郡	申請なし		
沢 池	申請なし		
西	申請なし		
畑 田	申請なし		
西河原	申請なし		

令和4年度 中学校区青少年健全育成運動協議会・中学校区青少年指導員会

校 区	開催月日	事 業 名	参加人数
養 精	6月4日(土)、12月6日(火)	校区地域一斉清掃活動事業	2200
	10月29日(土)	校区三世代スポーツ大会事業	250
	6月24日(金)、8月26日(金)、 10月21日(金)	校区巡回街頭指導事業	298
西	12月4日(日)	西中校区の集い	816
	2月10日(金)	西中学校講演会	120
東	8月6日(土)	教育問題懇談会	20
	9月22日(木)、3月7日(火)	青健ネットニュース発行・配布 (22,000部)	
豊 川	7月4日(月)~3月3日(金)	豊川中学校区あいさつ運動	300
	10月30日(日)	とよかわフェスタ (豊川中学校区青少年健全育成運動協議会大会)	2620
	11月23日(祝)	豊川中学校区子ども会親善ドッチボール大会	120
南	10月29日(土)	南中学校区フェスタ2022	2590
南(青指)	10月29日(土)	南中フェスタ モザイクアート制作	2011
	3月4日(土)	みんなで遊ぼう	91
三 島	10月29日(土)	青少年健全育成大会 (夢ふれあいフェスタ2022)	コロナによる中止
	12月3日(土)	地域一斉クリーン作戦	250
	2月下旬	教育問題懇談会	コロナによる中止
北	2月22日(水)	広報誌発行事業 (3,500部)	
東 雲	申請なし		
東雲(青指)	9月23日(祝)	東雲中学校区ふれあいウォーク	中止(会議のみ5)
	1月22日(日)	東雲中学校区映画上映会	80
天 王	6月25日(土)	大正川清掃活動事業	220
	7月2日(土)	教育問題懇談会	コロナによる中止
	12月4日(日)~1月27日(金)	交流スポーツ大会事業	685
西 陵	申請なし		
西陵(青指)	12月21日(水)~3月15日(水)	放課後カフェ (レインボーカフェ)	298
平 田	7月21日(木)~7月27日(水)	ラジオ体操	280
	10月15日(土)	クリーン行事	134
	2月5日(日)	スポーツ大会	194
	3月16日(木)	青健協新聞 (4,000部)	
北 陵	申請なし		
太 田	申請なし		
彩都西	3学期	校区清掃活動	コロナによる中止
	3月17日(金)	教育問題懇談会	500
青指協	9月18日(日)~2月11日(祝)	指導員研修事業	24
	7月~1月	青少年の街頭指導と社会環境づくり事業	16
	3月20日(月)	広報誌発行事業 (29,000部)	

2 青少年対象の行事

令和5年度（2023年度） 青少年健全育成事業補助金 対象行事 実施結果

令和5年度 校区子ども会育成連絡協議会

実施状況 R5.12月末現在

校区	開催月日	事業名	参加人数
茨木	5月1日(月)~12月末	スポーツ活動事業	
春日	申請なし		
春日丘	申請なし		
三島	7月29日(土)	ソフトボール	30
中条	6月10日(土)	校区子ども会全体行事 ガッツで遊ぼう	230
	7月16日(日)~17(月)	校区キャンプ	120
	10月21日(土)~22(日)	子ども会親善スポーツ中央大会	60
	12月2日(土)	子ども会親善百人一首カルタ競技大会	200
玉櫛	10月	南中フェスタ	
	12月上旬	玉櫛校ご連交流会	
安威	申請なし		
玉島	6月3日(土)	第42回ソフトボール・キックベース 玉島校区大会	80
清溪	申請なし		
大池	4月23日(日)~11月18日(土)	校区スポーツ大会 キックベースボールとソフトボールの活動	550
豊川	申請なし		
東	申請なし		
水尾	4月16日(日)~11月23日(木)	スポーツ事業	282
天王	10月29日(日)	天子連カーニバル	130
葦原	8月20日(日)~21(月)	子ども会キャンプ	
郡	申請なし		
庄栄	5月7日(日)~10月22日(日)	第57回子ども会親善スポーツ中央大会	1175
沢池	申請なし		
畑田	申請なし		
山手台	申請なし		
穂積	4月~10月	校区ソフトボール大会	
	5月~2月	校区百人一首大会	
白川	8月19日(土)	白川子ども花火大会	123
東奈良	申請なし		
西	5月7日(日)~3月31日(日)	キックベースとソフトボール	
彩都西	4月9日(日)~3月24日(日)	キックベース交流事業	

令和5年度 小学校区青少年健全育成運動協議会

実施状況 R5.12月末現在

校 区	開催月日	事 業 名	参加人数
茨 木	申請なし		
春 日	申請なし		
春日丘	申請なし		
三 島	12月16日(土)	もちつき大会	
中 条	7月22日(土)	夏祭り	
	12月9日(土)	もちつき大会	
玉 櫛	5月20日(土)	SLスケッチ大会	
	7月8日(土)、12月9日(土)、3月9日(土)	クリーン作戦 (7月/12月/3月)	
	1月13日(土)	もちつき大会	
	3月下旬	広報誌 (4,000部)	
安 威	1月上旬	安威小学校もちつき大会	
玉 島	11月中旬	玉島ふれあいウォークラリー	
	2月下旬	クリーン作戦	
	3月下旬	広報誌発行	
福 井	9月9日(土)	映画のタベ事業	200
清 溪	4月～3月	日本の文化に親しむ“剣道”	
忍頂寺	6月中旬	レクリエーション大会	
	12月中旬	クリスマス会	
	1月中旬	もちつき大会	
	12月中旬、3月中旬	青健協だより (500部ずつ)	
	2月上旬	耐寒ハイキング	
大 池	6月～9月	大池フラワーフェスタ	
	10月	秋季スポーツ大会	
	11月	大池フェスタ	
豊 川	5月27日(土)	親善スポーツ大会	
	6月17日(土)	ゲーム大会	
	7月～8月	夏季巡回パトロール	
	11月4日(土)	豊川小学校区親善ドッチボール大会	
	11月23日(祝)	豊川中学校区子ども会親善ドッチボール大会	
中 津	7月～1月	パトロール	
	1月27日(土)	青少年こどもまつり	
	2月	広報誌「せいけん」	
東	11月12日(日)	グラウンドゴルフ大会	90
水 尾	5月21日(日)	スポーツレクリエーション	
	5月29日(月)～1月29日(月)	高瀬川プランター花の植え替え	
	5月20日(土)～10月14日(土)	スポーツ教室 (ソフトバレー)	
	10月22日(日)、3月10日(日)	高瀬川清掃	
	12月17日(日)	クリスマスコンサート	
	3月中旬	広報誌発行 (3,500部)	

令和5年度 小学校区青少年健全育成運動協議会

実施状況 R5.12月末現在

校 区	開催月日	事 業 名	参加人数
郡 山	4月～3月	校区美化活動	
	7月28日(金)など	校区パトロール	
	夏休み期間の3日間	夏休みラジオ体操	
	8月	夏休みレクリエーション	
	1月6日(土)～1月8日(月)	もうすぐ学校始まるよラジオ体操	
	3月	人権講演会	
太 田	8月10日(木)、24日(木)	夏休みランチ会	
	3月	広報誌発行 (1,500部)	
天 王	6月17日(土)、11月上旬	クリーン作戦	
	12月上旬	天王フェスタ	
	1月上旬	スポーツ大会	
	2月中旬	青健協だより (4,500部)	
葦 原	8月26日(土)	夏の水遊びフェスタ	
	11月11日(土)	青少年スポーツフェスタ	
	12月末、3月中旬	青少年交流会	
	3月末	啓発紙 (2,500部)	
郡	1月21日(日)	郡こどもフェス	
庄 栄	申請なし		
沢 池	11月19日(日)	「親子のつどい」	
畑 田	8月20日(日)～21日(月)	サマーキャンプin畑小	220
山手台	10月14日(土)	中学生職業体験	
	11月4日(土)	親子映画会	
	1月6日(土)	新春子どもまつり	
	2月4日(日)	耐寒ハイキング	
耳 原	1月14日(日)	ふれあい広場事業	
	3月上旬	青健協だより発行	
穂 積	7月22日(土)、8月19日(土)	夏休み街頭指導パトロール	
	11月25日(土)	みんなでやってみよう	
	1月7日(日)	冬のあそび	
	6月～3月	自主サークル活動支援	
	3月	穂積小青健協広報誌発行 (2,900部)	
白 川	10月29日(日)	白川小学校区青少年健全育成大会 (ふれあいコンサート)	320
東奈良	11月12日(日)	元茨木川清掃	
	11月	防災講演会	
西	1月、2月	青健協綱引き大会	
	11月12日(日)	青健協スポーツ交流会	
西河原	8月19日(土)	青少年まつり	264
	11月18日(土)	子ども防災体験	41
	12月2日(土)	西河原クリーン作戦	224
彩都西	申請なし		

令和5年度 青少年会育成会

実施状況 R5.12月末現在

校 区	実施日	事 業 名	参加人数
春 日	申請なし		
春日丘	6月4日(日)	春日丘小学校区青少年会親睦スポーツ大会	120
玉 島	8月19日(土)	夏祭り	2050
福 井	12月9日(土)	しめ縄作り事業	100
清 溪	申請なし		
大 池	申請なし		
中 津	6月28日(水)~3月	おはなし会事業	
東	申請なし		
葦 原	12月末~3月中旬	青少年交流会	
郡	申請なし		
沢 池	8月10日(木)~11日(金)	チャレンジキャンプ	85
西	8月10日(木)~11日(金)	チャレンジキャンプ	85
畑 田	申請なし		
西河原	申請なし		

令和5年度 中学校区青少年健全育成運動協議会・中学校区青少年指導員会

実施状況 R5.12月末現在

校 区	開催月日	事 業 名	参加人数
養 精	6月4日(日)、12月3日(日)	校区地域一斉清掃活動事業	
	6月11日(日)	校区三世代スポーツ大会事業	
	6月24日(金)~1月12日(金)	校区巡回街頭指導事業	
西	12月2日(土)	西中校区の集い	
	2月10日(土)	西中学校講演会	
東	11月	教育問題懇談会	
	10月、3月	青健ネットニュース発行・配布 (22,000部)	
豊 川	7月上旬、10月下旬、3月下旬	豊川中学校区あいさつ運動	
	10月22日(日)	とよかわフェスタ (豊川中学校区青少年健全育成運動協議会大会)	
	11月下旬	豊川中学校区子ども会親善ドッチボール大会	
南	10月21日(土)	南中学校区フェスタ2023	2206
南(青指)	10月21日(土)	南中フェスタ モザイクアート製作	
	2月中旬	みんなで遊ぼう	
三 島	10月21日(土)	夢・笑顔・愛フェス	
	12月2日(土)	地域一斉クリーン作戦	
北	3月下旬	広報誌発行事業 (3,000部)	
東 雲	申請なし		
東雲(青指)	9月23日(土)	東雲中学校区ふれあいウォーク	
	1月21日(日)	東雲中学校区百人一首かるた会	
天 王	7月1日(土)	大正川清掃活動事業	
	11月25日(土)	交流スポーツ大会事業	
西 陵	8月10日(木)~11日(金)	チャレンジキャンプ	85
西陵(青指)	4月26日(水)~3月	放課後カフェ (レインボーカフェ)	
平 田	7月21日(金)~8月24日(木)	ラジオ体操	
	10月21日(土)	クリーン行事	
	2月4日(日)	スポーツ大会	
	3月15日(金)	青健協新聞 (4,500部)	
北 陵	申請なし		
太 田	3月	講演会	
	3月	広報誌発行 (1,500部)	
彩都西	7月13日(木)	教育問題懇談会	
	3月上旬	校区清掃活動	
青指協	6月~3月	指導員研修事業	
	7月~2月	青少年の街頭指導と社会環境づくり事業	
	3月上旬	広報誌発行事業 (27,000部)	

3 育成者対象の行事

※令和6年3月2日開催予定の
研修会の内容に差し替えます。



青少年健全育成研修会報告 (当日資料より一部抜粋)

テーマ	子どもの心に耳をすます ～子どもの心を支える大人の聴く力とは～
講師	大阪教育大学総合教育系教授 牧 郁子 氏
日時	令和5年3月4日(土) 午後2時30分から4時
場所	WEB会議ツール(ZOOM)・上中条青少年センター3階会議室
参加者 (71人)	青少年問題協議会、青少年指導員連絡協議会、こども会育成連絡協議会、青少年健全育成運動協議会、PTA協議会、放課後子ども教室、スポーツ関係団体、つどいの広場、公立保育施設、キャンプカウンセラー、保護者、市職員
内容	<p>1 子どもの心に起きていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネガティブな気持ちを発信できる子どもは、抱っこされたりなだめられたりし、自分で抱えきれない不快な感情を安全にくるんでもらえる機会を引き出せる。 ・不快な感情が大人に安全にくるまると、不安が身体感覚を通じて安心感に変わる。将来、不快感情を自分で抱えられるようになる。 <p>→感情のコントロールができる心の成長につながる。</p> <p>2 スクール・カウンセリング現場から考える最近子どもに多い問題とその背景</p> <p>■教育相談に来室する子どもに共通すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちをくみ取られたり、認められたりする機会が少ない。 ・自分の気持ちよりも親の望みを優先する。 ・「ネガティブ感情」を表現できない。 <p>→自分の感情に気づき表現することができない =感情の社会化不全 〈感情の社会化〉…自分の身体の中で起きていることを「うれしい」「かなしい」といった「ことば」を使い、他者と共有できるようになること。 「ネガティブ感情」を表現できない状態が続くと、感情の社会化不全となる。</p> <p>(1) ネガティブ感情を無意識に行動化する 例) 万引きがやめられない (2) 親や教師の隠れたところで爆発させる 例) 陰でいじめを行う</p> <p>3 感情の社会化不全と子どもの心の問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対し、必要以上に質問・アドバイス・説明・否定などをすると、子どもはわかってもらえない苛立ちと、大人に言っても仕方がない諦めで気持ちがいっぱいになり、建設的に考えることができなくなる <p>〈子どもの悩みを聴くときのポイント〉…大人としての価値観を一端保留し、子どもの気持ちに素直に耳を傾けジャッジせず、「あなたはこう感じているんだね」と感情の社会化を援助する。</p> <p>→子どもが自分で答えを見つける助けになる。</p> <p>4 子どもの心を支える聴き方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、生活の中で関わる大人に気持ちを知ってもらいたいと思っている。 <p>→気持ちを聞いて共感し認めてくれるなら、自分で頑張る力が湧いてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもは、保護者にポジティブ・ネガティブ感情を聴いてもらうと、うまくいなくても頑張れ、自分や他人を信じられ、出来事を肯定的にとらえられる。 <p>→無気力感低下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの感情の社会化を促しその感情を認めることは、自分で考える力の醸成につながる。大人がまず子どもの気持ちを引き出す聴き方を心がける。

4 青少年問題協議会の役割

茨木市青少年問題協議会とは

1 設置根拠

《地方青少年問題協議会法》

第1条

「市町村に、附属機関として市町村青少年問題協議会をおくことができる。」

第2条

- (1) 青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項の調査審議
- (2) 青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整

《茨木市青少年問題協議会条例》

構成：(1) 学識経験者 (2) 関係団体を代表する者 (3) 市議会議員 (4) 関係行政機関の職員
(5) 市の職員

任期：2年

会長：市長

専門部会：専門の事項に関する調査又は審議を分掌

2 経緯

- ・ 昭和33年6月 「茨木市青少年問題協議会に関する条例」制定
※年1回「総会」を開催し、事業計画・事業報告、予算・決算（案）を審議
- ・ 平成24年7月 青少年問題協議会の再編（専門部会の設置及び委員数の削減）
※H23.5 委員38人幹事18人 ⇒ H24.7 委員15人 専門部会員13人（内7人は兼務）
再編理由：「議論の場」「提言等を実施する会議」とするため
- ・ 平成25年12月 「茨木市青少年問題協議会に関する条例」全部改正により「茨木市青少年問題協議会条例」制定（H26.4.1施行）
改正内容：委員定数 50人以内→25人以内、専門部会を条例で規定

3 現状

■ 青少年問題協議会、同専門部会を必要に応じて開催。

■ 茨木市青少年問題協議会・専門部会構成メンバー

■ 役割

茨木市青少年問題協議会条例第6条

協議会に専門事項に関する調査又は審議を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

《協議会》 専門部会に、本市青少年健全育成に関する提言案の検討・作成を付託。その提言案をもとに、審議・決定

《専門部会》 協議会から付託された事項について、検討し、協議会に報告する。

青少年問題協議会の構成（関係図）

※は専門部会を構成する団体



茨木市青少年問題協議会条例

平成25年12月9日
茨木市条例第43号

茨木市青少年問題協議会に関する条例（昭和33年茨木市条例第20号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 地方青少年問題協議会法（昭和28年法律第83号）第1条の規定に基づき、茨木市青少年問題協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 協議会は、会長及び委員24人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体を代表する者
- (3) 市議会議員
- (4) 関係行政機関の職員
- (5) 市の職員

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

2 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長等）

第4条 会長は、市長をもって充てる。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 協議会に副会長1人を置き、委員の互選により定める。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

4 会長が必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

（専門部会）

第6条 協議会に、専門の事項に関する調査又は審議を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

2 専門部会に属する委員（次項において「部会員」という。）は、市長が指名する。

3 専門部会に部会長を置き、部会員の互選により定める。

4 専門部会の会議は、部会長が招集し、その議長となる。

（庶務）

第7条 協議会及び専門部会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。

（委任）

第8条 この条例の施行について必要な事項は、市長が定める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この条例の施行の日の前日において茨木市青少年問題協議会の委員である者の任期は、この条例による改正前の茨木市青少年問題協議会に関する条例第3条第1項の規定にかかわらず、その日に満了する。

取組状況（議題）

令和4年度

実施日	開催回数	会議名	議題
令和4年8月24日	第1回	専門部会	(1) 付託事項の検討 ・青少年健全育成運動重点目標の取組状況 ・ほっとけん！アワードの進捗状況 ・青少年育成の現状報告と課題の共有
令和4年11月28日	第2回	専門部会	(1) 付託事項の検討 ・青少年健全育成運動重点目標の取組状況 ・ほっとけん！アワードの選出 ・青少年育成の現状報告と課題の共有
令和5年2月22日	第1回	青少年問題協議会	(1) 専門部会からの付託事項報告 ・青少年健全育成のための重点目標と取組状況 ・ほっとけん！アワードの決定 ・青少年健全育成重点目標リーフレットの更新 (2) 青少年育成の現状報告と課題の共有

令和5年度

実施日	開催回数	会議名	議題
令和5年8月24日	第1回	専門部会	(1) 付託事項の検討 ・青少年健全育成運動重点目標の取組状況 ・ほっとけん！アワードの進捗状況 ・青少年育成の現状報告と課題の共有
令和5年11月27日	第2回	専門部会	(1) 付託事項の検討 ・青少年健全育成運動重点目標の取組状況 ・ほっとけん！アワードの選出 ・青少年育成の現状報告と課題の共有
令和6年1月30日	第1回	青少年問題協議会	(1) 専門部会からの付託事項報告 ・青少年健全育成のための重点目標と取組状況 ・ほっとけん！アワードの決定 ・青少年健全育成重点目標リーフレットの更新 (2) 青少年育成の現状報告と課題の共有

茨木市青少年問題協議会委員名簿

(順不同・敬称略)

	役 職	氏 名	備 考
1	会長	福岡 洋一	茨木市長
2	副会長	岡田 祐一	茨木市教育委員会教育長
3	委員	福丸 孝之	茨木市議会文教常任委員会委員長
4	委員	青木 順子	茨木市議会文教常任委員会副委員長
5	委員	三川 俊樹	追手門学院大学心理学部教授
6	委員	福井 斉	梅花女子大学心理こども学部准教授
7	委員	山田 眞弘	大阪府茨木保健所次長
8	委員	内田 正俊	茨木市内府立高等学校代表（福井高等学校校長）
9	委員	廣瀬 憲吾	茨木市立中学校校長会代表（東中学校校長）
10	委員	梅花 ゆかり	茨木市立小学校校長会代表（穂積小学校校長）
11	委員	石田 陽子	茨木市立幼稚園園長会代表（東雲幼稚園園長）
12	委員	田村 枝和子	茨木市立保育所所長会代表（小規模保育施設のぞみ施設長）
13	委員	福元 康行	茨木地区保護司会代表
14	委員	辻本 恭治	茨木警察署生活安全課長
15	委員	采女 桂子	茨木市 P T A 協議会代表
16	委員	明瀬 秀憲	茨木市中学校区青少年健全育成運動協議会会長連絡会代表
17	委員	平松 克一	茨木市小学校区青少年健全育成運動協議会会長連絡会代表
18	委員	藤森 潔文	茨木市青少年指導員連絡協議会代表
19	委員	浦野 祐美子	茨木市こども会育成連絡協議会代表
20	オブザーバー	澤井 啓祐	吹田子ども家庭センター企画調整課長

【専門部会】

	役 職	氏 名	備 考
1	委員	三川 俊樹	追手門学院大学心理学部教授
2	委員	福井 斉	梅花女子大学心理こども学部准教授
3	委員	山田 眞弘	大阪府茨木保健所次長
4	委員	内田 正俊	茨木市内府立高等学校代表（福井高等学校校長）
5	委員	廣瀬 憲吾	茨木市立中学校校長会代表（東中学校校長）
6	委員	梅花 ゆかり	茨木市立小学校校長会代表（穂積小学校校長）
7	委員	辻本 恭治	茨木警察署生活安全課長
8	委員	采女 桂子	茨木市 P T A 協議会代表
9	委員	明瀬 秀憲	茨木市中学校区青少年健全育成運動協議会会長連絡会代表
10	委員	平松 克一	茨木市小学校区青少年健全育成運動協議会会長連絡会代表
11	委員	藤森 潔文	茨木市青少年指導員連絡協議会代表
12	委員	浦野 祐美子	茨木市こども会育成連絡協議会代表

5 青少年問題協議会／団体・機関の紹介

団体・機関名（略称）	団体紹介・青少年に関する活動内容等
<p>＜連絡調整等組織＞ 茨木市こども会育成連絡協議会 （市こ連）</p> <hr/> <p>・各小学校区こども会育成連絡協議会（校こ連）【25団体】</p> <p>・単位こども会【137団体】</p>	<p>一定の地域に居住するこどもたちが、遊びを中心とする異年齢の集団活動を通して、創造性・協調性・実践力等を身につけることをねらいとして組織された「単位こども会」があります。また、それらの各代表が構成員となり、小学校区内の単位こども会の交流行事等を実施する「小学校区こども会育成連絡協議会」があります。「茨木市こども会育成連絡協議会」はこども会に関する市全体の総括団体として、教育委員会主催行事への協力や、こども会安全共済会の窓口等も担っています。</p> <p>具体的な活動 スポーツ大会（ソフトボール・キックベースボール）、キャンプ、ラジオ体操、廃品回収、百人一首大会、季節ごとの行事 等</p>
<p>＜連絡調整等組織＞ 小学校区青少年健全育成運動協議会 会長連絡会</p> <hr/> <p>各小学校区青少年健全育成運動協議会（小青健）【32団体】</p>	<p>地域の青少年を育成する組織として小学校区ごとに青少年健全育成運動協議会を結成し、地域や小学校等と連携し、地域での仲間づくりにより青少年が地域で健やかに成長できるように、また、中学生になってからも声を掛け合えるような人間関係をめざすために、「地域での人間関係の構築」と「青少年の地域活動への参加促進」を目的に活動しています。</p> <p>また、各校区の会長で連絡会を組織し、相互の連絡調整や活動推進を図っています。</p> <p>具体的な活動 校区巡回指導、夏祭り、もちつき大会、スポーツ大会、とんど焼き、清掃活動、あいさつ運動、広報誌発行 等</p>
<p>＜連絡調整等組織＞ 中学校区青少年健全育成運動協議会 会長連絡会</p> <hr/> <p>各中学校区青少年健全育成運動協議会（中青健）【14団体】</p>	<p>地域の青少年を育成する組織として中学校区ごとに青少年健全育成運動協議会を結成し、青少年指導員、中学校と連携・協力しながら中学生の状況を把握するとともに、「校区生徒の問題行動の抑制」や「規範意識の醸成」を図ることのほか、地域での人間関係の構築や青少年の地域活動への参加を促進するために活動しています。</p> <p>また、各校区の会長で連絡会を組織し、相互の連絡調整や活動推進を図っています。</p> <p>具体的な活動 校区巡回指導、校区内フェスタ（リクレーション大会、コンサート等）、清掃活動、あいさつ運動、教育問題懇談会 等</p>
<p>＜連絡調整等組織＞ 茨木市青少年指導員連絡協議会 （青指協）</p> <hr/> <p>各中学校区青少年指導員会【14団体・105人】</p>	<p>青少年指導員は、茨木市青少年問題協議会会長（茨木市長）から委嘱をうけ、地域社会の中で青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、青少年に関する相談や地域社会の浄化と環境づくり等に取り組むため各中学校区で青少年指導員会を組織しています。また、相互の連絡調整等により活動の推進を図ることを目的に市全体で連絡協議会を運営しています。各青少年指導員はボランティア精神に基づき、青少年を指導・援助することを通して「校区生徒の問題行動の抑制」や「規範意識の醸成」を目的に活動しています。</p> <p>具体的な活動 茨木神社夏祭り、茨木フェスティバル、弁天宗花火大会開催時等の夜間巡回街頭指導、夏休み期間における深夜はいかい等防止のための巡回街頭指導、茨木市成人祭における場内整理や警備等への協力、機関紙「青指いばらき」の発行、研修会の実施 等</p>

団体・機関名（略称）	団体紹介・青少年に関する活動内容等
茨木地区保護司会	<p>犯罪や非行で保護観察を受けている人の生活状況を把握し、立ち直りに必要な指導、助言をしています。また刑務所、少年院等から社会復帰する時、速やかに社会生活を営めるよう帰住先の生活環境の調整や相談を行っています。</p> <p>犯罪予防、非行防止のための活動にも取り組み、「茨木市更生保護サポートセンター」の運営にあたっています。</p> <p>具体的な活動 保護観察対象者やその家族との面談、生活環境の調整、就労支援、社会を明るくする運動による啓発活動、関係団体との情報交換と連携、刑務所や少年院の製作品の販売支援 等</p>
吹田子ども家庭センター	<p>こどもの発達や非行、不登校、虐待等について、こどもの生活や自立を支援するための相談援助を実施しています。府内6か所の子ども家庭センターのうち、吹田子ども家庭センターでは、吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町を管轄しています。</p> <p>具体的な活動 青少年に関する相談支援、里親制度、児童虐待対応 等</p>
大阪府茨木保健所	<p>府民の健康増進や公衆衛生を目的とし、医師や保健師、薬剤師、栄養士等を配置。市町村の福祉関係部門等とも相互連携を図っています。対象は青少年だけでなく、広く府民全体に対して施策を実施しています。</p> <p>具体的な活動 こころの健康相談、薬物乱用防止や感染症等に対する啓発事業、禁煙支援、栄養相談、難病患者やその家族に対する支援・相談 等</p>
茨木警察署生活安全課	<p>青少年の安全や健全育成を目的として、補導や指導を行っています。また、学校や児童相談所、少年補導員等のボランティア団体と連携、情報共有を図り、犯罪被害や非行防止のネットワークの構築を進めています。</p> <p>具体的な活動 非行防止教室、少年補導員等との合同補導、青少年に関する事件捜査、薬物や喫煙、SNS被害防止等の啓発活動、児童虐待対策 等</p>
茨木市PTA協議会（市P）	<p>茨木市内の市立幼(認定子ども園含む)・小・中学校園PTA(57校園)で組織されており、単位PTA間の情報の交換・共有、市、学校、その他各関係団体と連携し、茨木のこどもたちのよりよき教育的環境の醸成に努めています。また、単位PTAだけでは解決できない問題や課題にも積極的に取り組んでいます。また、茨木市学童通学安全対策協議会として、通学路の安全対策の推進活動も行っています。</p> <p>具体的な活動 PTA大会の開催、役員会、理事（単位PTA会長）会、会長交流会、各種講演会・交流会の開催、茨木のこどもを守る運動事業実施、各種イベントの実施、広報紙「しい〜びい〜通信」の発行、ホームページでの情報発信等 行政との連絡・調整、三島地区PTA連絡協議会・大阪府PTA協議会・近畿ブロックPTA協議会、日本PTA全国協議会 等</p>

関係機関・団体

6 資料

令和5年度（2023年度）青少年問題協議会関係 啓発事業（リーフレット配布状況含む）一覧

実施月	実施日	事業名	参加人数	リーフレット配布	ほっとけん！ 貸出
4月	3日	青少年健全育成事業補助金 事務担当者宛説明資料送付	-	151	-
	19日	青少年指導員委嘱状交付式	64	101	-
5月	11日	市内私立高校（リーフレット配布）	-	5,600	-
	17日	青少年指導員連絡協議会総会	22	-	-
6月	22・23日	小・中学校区青少年健全育成運動協議会会長連絡会	25	-	-
7月	1日～31日	青少年の非行・被害防止全国強調月間	-	-	-
	4日	第1回三島ブロック青少年指導員役員会	20	-	-
	13日・14日	茨木神社夏まつり巡回街頭指導（13日は雨天中止）	28	-	-
	29日・30日	茨木フェスティバル巡回街頭指導	40	-	-
8月	8日	弁天宗花火大会巡回街頭指導	23	-	-
	24日	第1回青少年問題協議会専門部会	10	-	-
11月	1日～30日	青少年健全育成強調月間	-	-	-
	3日	教育文化月間表彰式	18	-	-
	26日	三島ブロック青少年指導員研修会	14	-	-
	27日	第2回青少年問題協議会専門部会	12	-	-
12月	16日	青少年による青少年のためのイベント	302	-	-
	20日	青少年指導員研修	15	-	-
1月	8日	二十歳のつどい	2,300	-	-
	30日	青少年問題協議会			
3月	予定	青少年健全育成研修会			
	19日	第2回三島ブロック青少年指導員役員会			
	下旬	市内小・中学校、府立高等学校、支援学校、保育施設（リーフレット配布）		約32,000	

※ ほっとけん！出動では、着ぐるみによる出動及びほっとけん！パネルの貸出による啓発も含めています。

茨木市民憲章

わたくしたち 茨木市民は

1. 心をあわせて あすの力をそだてましょう
1. 仕事にはげんで 明るい家庭をきずきましょう
1. 環境をととのえて 美しいまちをつくりましょう
1. きまりをまもって 良い風習をひろめましょう
1. 教養をふかめて みんなの文化をたかめましょう

茨木市青少年育成の標語

いま 伸びよう

茨木の未来をひらく 青少年

見守ろう わが子

ひとの子 みんなの子

茨木市青少年問題協議会事務局

茨木市立上中条青少年センター内

茨木市教育委員会 教育総務部 社会教育振興課

〒567-0881 茨木市上中条二丁目 11 番 22 号

電話：072-622-5180